

第九

演奏会

ブラームス：大学祝典序曲 指揮 津田泰孝

ベートーヴェン：
交響曲 第9番 二短調 (合唱付)

指揮 広上淳一

管弦楽
宇部市民オーケストラ
合唱
宇部市民オーケストラと第九を歌う会



佐々木典子
(ソプラノ)

寺谷千枝子
(メゾ・ソプラノ)

広上淳一
(指揮)

津田泰孝
(指揮)

福井 敬
(テノール)

河野克典
(バリトン)

2007年3月18日(日)

宇部市渡辺翁記念会館

開場/13:00 開演/14:00

入場料 ¥1,500 (高校生以下 ¥1,000)



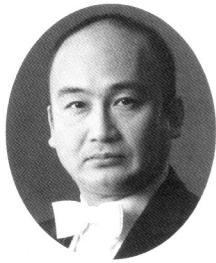
主催 ● 宇部市民オーケストラ
後援 ● 宇部市、宇部市教育委員会、宇部文化連盟、NHK山口放送局、KRY山口放送、TYSテレビ山口、yab山口朝日放送、エフエム山口、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、宇部日報社、FMきらら、宇部好楽協会、宇部音楽鑑賞協会、財渡辺翁記念文化協会

プレイガイド ● 宇部TYSカルチャーセンター、宇部井筒屋、イトオ楽器店、小野田サンパーク、サンパークあじす、フジグラン宇部
その他ポスターのあるお店でお求め下さい。

お知らせ ● 未就学児の入場はご遠慮下さい。当日託児所を準備しております。託児は無料です。ご希望の方は事前にご連絡ください。
託児担当：大村 (電話083-927-6156)

駐車場が狭い為なるべく公共の交通機関をご利用下さいますようお願い申し上げます。
尚、駐車後は演奏会終了まで車の移動ができませんのでご了承下さい。

お問い合わせ ● 宇部市民オーケストラ事務局 佐藤クリニック内 (FAX.0836-32-7514)
E-mail : ube-oke@crocus.ocn.ne.jp HP : http://www2.ocn.ne.jp/~ube-oke/



広上淳一 (指揮)

Junichi HIROKAMI, Conductor

東京生まれ、東京音大指揮科に学んだ広上淳一が「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝したのは1984年9月、26歳の時であった。その審査員の1人だったアシュケナージは広上を特に高く評価し、翌年ピアニストとしてNHK交響楽団と協演した際には彼を指揮者に指名（広上のN響初協演）したほどである。

86年以降、広上の世界への快進撃が始まり、フランス国立管やベルリン放送響、コンサートヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャーなオーケストラへの客演が展開されていった。91～95年にはノールショピング響（スウェーデン）の、98～2000年にリンブルク響（オランダ）の各首席指揮者を歴任、このうち前者とは94年に「来日」公演を実現している。この間、88年に日本フィル定期でマーラーの《交響曲第6番》を指揮し成功を収め、91～2000年にはその正指揮者をつとめて、96年の欧州演奏旅行を指揮したほか、R.シュトラウスの《英雄の生涯》やハイドンの交響曲など、多くの瑞々しく壮大な快演を残した。

2004/05シーズンは、ヴァンクーヴァー響、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィル、ポルティモア響等、2005/06シーズンは、NHK響、シンシナティ響、カルガリー・フィル、スタヴァンゲル響（ノルウェー）、ノールショピング響等へ客演。なお2006/07シーズンから米国のコロンバス交響楽団音楽監督に就任する。その先も、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ロンドン・モーツァルトプレーヤーズ、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、ポーランド放送響、スロヴェニア・フィル等への客演が予定されている。

オペラ指揮の分野でも89、90年のシドニー歌劇場におけるヴェルディの《仮面舞踏会》や《リゴレット》が高く評価されたのをはじめ、最近では藤原歌劇団公演《椿姫》、関西二期会公演《フィガロの結婚》、日生劇場《後宮からの逃走》が記憶に新しい。



佐々木典子 (ソプラノ)

Noriko SASAKI, Soprano

熊本県出身。武蔵野音楽大学卒業。ザルツブルグのモーツァルトウムに留学、オペラ科を首席で修了。1986年ウィーン国立歌劇場にソリストとして本契約。ウィーンはじめヨーロッパ各地の劇場で数多くのオペラに出演する他、コンサートにも多数出演。86、89年ウィーン国立歌劇場日本公演、87、

88年ザルツブルグ音楽祭「モーゼとアロン」、89年日本公演ガラコンサート（C.アバド指揮）に出演。03年「ばらの騎士」元帥夫人で大喝采を浴びる。04年宮本亜門演出で話題を呼んだ「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィーラ、05年「椿姫」ヴィオレッタと、高い芸術性と気品のある演技で聴衆を魅了。リサイタルにおいても高い評価を得ている。本年9月には再び宮本亜門演出「フィガロの結婚」伯爵夫人役で出演。90年熊本市女性賞。2000年ホテルオーケラ音楽賞。二期会会員。東京芸術大学助教授。武蔵野音楽大学非常勤講師。



寺谷千枝子 (メゾ・ソプラノ)

Chieko TERATANI, Mezzo-Soprano

東京芸術大学卒、同大学院終了。ハンブルク国立音楽大学声楽科、オペラ科共に首席で卒業。在学中、メスフィールド賞を受賞。1980年、セルトヘンボス国際声楽コンクール第2位入賞。1981年ドイツのプレーマーハーフェン歌劇場とソ

コ専属契約を結び、「ばらの騎士」のオクタヴィアンでデビュー。以来ドイツを中心に国際的に活躍。世界的ブームとなったグレツキ「悲歌のシンフォニー」の各国初演も行なう。日本でも小澤征爾、若杉弘、大野和士、デュトワ、インバル、フルネ、シャイー、チョン等著名指揮者のもと数々のステージに迎えられ、評価を高めている。東京芸術大学助教授、国立音楽大学非常勤講師。



福井 敬 (テノール)

Kei FUKUI, Tenor

岩手県出身。国立音楽大学声楽科卒業。同大学院修了。二期会オペラスタジオ、文化庁オペラ研修所を修了。文化庁派遣芸術家在外研修員等によりイタリアに留学。92年二期会創立40周年記念「ラ・ボエーム」ロドルフォ役での鮮烈なデビュー以来、数々のオペラに主演。輝かしい声と幅広い表現

力、情感溢れる演技で今や日本のオペラ・声楽界を代表するテノールとして、最も信頼を集めている。最近では02年『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ヴァルター、03年『カルメン』ドン・ホセ等の二期会創立50周年シリーズや、びわ湖ホール05年『スティッフェリオ』（日本初演）、そして06年二期会『ラ・ボエーム』『蝶々夫人』等、主演を重ねその信頼は厚い。これまでに第20回ジロー・オペラ賞新人賞、第4回五島記念文化賞オペラ新人賞、第44回芸術選奨文部大臣賞新人賞、第25回ジロー・オペラ賞、第9回出光音楽賞、第33回エクスンモービル音楽賞洋楽部門本賞など、数々の栄誉に輝いている。



河野克典 (バリトン)

Katsunori KONO, Baritone

山口県出身。東京芸術大学卒業、同大学院修了。藝大「メサイア」公演でデビュー。ドイツ政府給費留学生（DAAD）としてミュンヘン国立音楽大学マイスタークラスに学ぶ。その後ウィーン国立歌劇場研究員となる。ジュネーブ国際音楽コンクール声楽部門第2位（1位なし）、ヘルトゲンボン

ユ国際声楽コンクール歌劇部門第1位。オペラはリヨン・オペラでケント・ナガノの指揮のもと「蝶々夫人」のヤマドリなどに出演。日本国内ではソニー音楽芸術振興会主催の「Performance Today」でデビューリサイタルを、NHK交響楽団の定期演奏会には若杉弘氏の指揮でマーラーの「さすらう若人の歌」を歌いデビュー。01年10月にはクルト・マズア指揮ロンドンフィルハーモニー管弦楽団「第九」公演のソリストをつとめる。これまでに小澤征爾氏、大野和士氏、ケント・ナガノ氏、沼尻竜典氏、オリバー・ナッセン氏をはじめ内外の指揮者と数多く共演をしている。現在、横浜国立大学教育人間科学部助教授、東京芸術大学非常勤講師として後進の指導にあたる。



津田泰孝 (指揮)

Yasutaka TSUDA, Conductor

声楽家の家庭に生まれる。高校卒業後、北村昭、荻久保和明両氏に作曲を師事。82年東京音楽大学作曲科入学。作曲を故・池野成氏に4年間師事、チェロ協奏曲を作曲。その他三枝成章、池田晋一郎、伊福部昭、松村禎三の各氏に師事。卒業後、松尾葉子氏に短期間指揮を師事、武蔵野合唱団副指揮を務め

る。90年名古屋芸術大学オペラ研究室副指揮者を勤め、翌年欧州へ短期留学。Master Players Academyに於いてRichard Schumacher氏に指揮を師事、ベルリン交響楽団を指揮。帰国後、数多くのオーケストラ・合唱団・オペラの指揮者として中部地域で活動を開始。95年指揮を小松一彦氏に師事。同氏のアシスタントとして、多くのアマチュア演奏団体を指揮。02年仙台フィルハーモニー管弦楽団音楽監督・外山雄三氏の推薦により、同オーケストラを現在までに9公演指揮。03年広上淳一氏に師事。04年外山雄三氏の推薦により群馬交響楽団を2公演指揮。現在、田園都市フィル常任指揮者。東京音楽大学指揮科助手。広上淳一教授のクラスでアシスタントを務めている。

宇部市民オーケストラ

Ube Citizen Orchestra

98年に9名の発起人の呼びかけで設立されたオーケストラです。団員は宇部市を中心に県内各地からの参加者で現在では100名を超えました。指揮音楽監督として設立以来十川真弓氏（山口大学教育学部名誉教授・元日フィルVn奏者）のご指導のもと活動してまいりました。演奏活動は年一度の定期演奏会（3月）と「クラシックの午後」と名づけた少し軽めのプログラムで構成するサマーコンサート（9月）、また室内楽中心の「気軽にアンサンブル」（6月）を行なってきました。その間、客演指揮者として03年に今回の第九演奏会を指揮していただく広上淳一氏、04年・05年に松下京介氏、06年に田中良和氏、茂木大輔氏など国内外で活躍の方々をお迎えしております。

宇部市民オーケストラと第九を歌う会

「宇部市民オーケストラと第九を歌う会」は平成18年9月3日に発足し、月1、2回の練習を重ねてきました。メンバーは山口県合唱連盟宇部地区（高校合唱団1団体、職場合唱団1団体、一般合唱団5団体）の有志と宇部市民オーケストラ推薦・他から成っています。ステージのキャパシティの関係から小規模編成の合唱団となりましたが、宇部市民オーケストラとともにベートーベンの第九「歓喜の歌」を合唱団一同声高らかに歌います。